



認定NPO法人市民オンブズマンおかやま

編集・発行 光成卓明 事務所 〒700-0933 岡山市北区奥田 1-11-20

E-mail : info@ombud-oka.com ホームページ : <http://www.ombud-oka.com>

2017年9月2日(土)～9月3日(日)開催

第24回全国市民オンブズマン和歌山大会報告

初めて市民オンブズマン全国大会に参加しての感想

井川 孝志

私について

本籍地・愛媛、現住所・岡山、いわば居候といったところでしょうか？まあ、居候の方が傍目八目で意外と客観的に見えるかもしれません。

愛媛の腐った現状を見て、オンブズマンの勉強をしたいと思ったものの地元はその環境がなく、流れ流れて岡山にわらじを脱ぎました。一宿一飯のつもりが、長逗留になってしまい、ムダ飯食らいの役立たずで、肩身の狭い思いをしています。居候三杯目にはそっと出し、という心境でしょうか。オンブズマンの仕事は思った以上に奥が深く、いつ愛媛に里帰りできるのか、全く見当もつきませんが、老骨に鞭を打っている現状です。毎月予讃線です。

私のような外部の目から見ると、「市民オンブズマンおかやま」という有能でまっとうなチェック機構を持つ岡山県民は幸せだと思います。

市民オンブズマンおかやまについて

市民オンブズマンおかやまは、練達の弁護士2人と博識の税理士1人の指導の下、数人の強力な実働部隊が動きます。

政治家や行政の無駄遣いの不正を正す地道な活動に、あなたも参加しませんか？苦勞が多い割に報われることの少ない地味な仕事ですが、やりがいのある仕事です。少しでも社会を良くしようと粘り強く頑張っています。

そして、「市民オンブズマンおかやま」は、なんと「認定NPO法人」です。私は正直このことに驚きました。認定NPO法人というのは、地域社会を良くするという活動が、社会的に認定された数少ない団体で、岡山県全体でも数件しかありません。オンブズマンとしてはもちろん全国で「市民オンブズマンおかやま」が、唯一です。

そして、あなたにとっての特典は、あなたが寄付された場合、「寄付金控除」を受けられることです。これは言い方を変えれば、「税金の使い道を自分で決められる」ということです。税金の使われ方に疑問を持っている方は、ぜひご一考ください。「認定NPO法人」を続けるためにもあなたのご協力をお願いします。

市民オンブズマン全国大会について

もっと勉強しなければと思い、9月2日・3日に和歌山で行われた全国大会に私も初めて参加しました。

1日目——全体会議

今年のオンブズマン全国大会のテーマは、「付度（そんたく）の闇に光を！！権力のえこひいきをただす」でした。情けないことですが、今の日本で、政治や行政の劣化を、これほどの的確に表現した言葉はないと思います。現在の権力に追随する窮屈な流れに対して、マスコミだけでなく、市民レベルでオンブズマンがはっきりとその矛盾を突き、問題点を指摘することは意義のあることだと考えます。

安保法制・共謀罪と来て、今まさにカジノ法の実施が現実味を帯びてきています。森友・加計問題など信じられないような現実もあり、まさに「まさか」の連続です。民主主義の根幹が脅かされています。

こんなことは許せない、これ以上日本を逆戻りさせてはいけない、という雰囲気当日の会場に張りつめていました。年配の弁護士も多く、彼らを駆り立てているものは使命感・危機感のように見えました。最近の息苦しい流れに一矢を報いようとする心意気が彼らを支えているように感じられ、オンブズマンの真骨頂を見た思いをしました。その熱い気持ちに私も勇気をいただきました。

夕方6時まで、全国各オンブズマンの活躍内容が報告されましたが、その奮闘ぶりに感心すると同時に、いくら叩いても懲りない相手（政治家・行政）にうんざり、という実感もありました。

全国大会で唯一気になったのが、参加者の高齢化でした。杖をついた参加者もおられ、若い人の参加が望まれます。

市民オンブズマンおかやま、の活躍

「市民オンブズマンおかやま」も7人が参加しました。

新海事務局長の基調報告に続いて、和田氏（税理士）が「森友学園問題情報公開結果報告」を行いました。また、光成代表（弁護士）は「包括外部監査の通信簿」の取りまとめや表彰、また寸劇の主役級の活躍など全国に「市民オンブズマンおかやま」の存在

感を示しました。

楽しかった息抜き（番外編）

6時半から全国大会の懇親会があり、その後8時過ぎから岡山の4人で2次会に流れました。今回のオンブズマン大会のまじめな総括から始まり、歴史の裏話にまで話が脱線し、盛り上がりました。おいしい酒を楽しめ、浮世を忘れてくつろいだひと時を過ごせました。酒の肴が物でなく、「話」を肴にして盛り上がるのは最高です。したたかに酔いました。

2日目——分科会

4つのコースがありましたが、私は「政務活動費」コースに参加しました。「市民オンブズマンおかやま」の光成代表がこのコース全体の司会・進行・取りまとめを行いました。「政務活動費」は4コース中最も参加者の多かったコースで、全国のオンブズマンにとっては最も基本的な仕事です。最近の4回の全国大会のテーマは

- ① 2016年「ふうがわるいで、政務活動費！」（香川）
- ② 2015年「そなんんあかんでー！役所と議会（政務活動費と文書管理）」（兵庫）
- ③ 2014年「じえじえじえ！秘密保護法・公共事業・政務活動費」（岩手）
- ④ 2013年「このままやったら、あきまへんどすなあ議員さん」（京都）

となっており、政務活動費は毎回トップのテーマです。

政務活動費の不正使用について新聞などでしばしば取り上げられていますが、解決法はきわめて簡単です。議員（県・市）が良識を持って政務活動費を使用すれば、問題は一切起こりません。ところが現実には正反対ともいえるひどいもので、先生方のモラルの低さに、絶望的なものを感じます。

政務活動費について、透明化するための対策は非常に簡単です。

- ① 支出が適正か、第3者がチェックすること
- ② 政務活動費の支給を後払いにすること
- ③ 領収書・会計帳簿などの資料をネット公開すること

などです（別表参照）。こんなことはその気があれば明日からでもできます。そして、こんなことは普通の会社では100%当たり前のことですが、この非常に簡単で当たり前の対策を先生方はいやがりません。まるで、不正を止めるのはいやだ、と駄々をこねているような感じです。先生方にモラルを説くのは、馬の耳に念仏・馬耳東風でしょうか？ 並べて書くと、馬さんにしか（鹿）られそうですね。

まとめ

政務活動費は第2の給料とまで言われますが、言うまでもなく原資は税金です。今、貧困や格差の問題など、税金が必要な所に行き渡らない社会的不公平がある一方で、社会を良くする義務と責任を持つはずの先生方が自ら率先して税金の無駄遣い・不正使用をするのは許せないことです。表の「岡山県の政務活動費情報公開度」を見てください。この恥ずかしい数字が岡山県の現実なのです。完全な落第点です。先生方の良識と自覚があれば、100点満点を採るのは簡単なことです。現に100点満点の市や県は岡山県以外にあるのです。岡山県もそうなりたいものです。そのために、あなたの力を貸していただけませんか？

また、不正は政務活動費だけではありません。議員のモラルが低いのは、そういう議員を選んだ社会（私達）のせいでしょうか？

それでも「市民オンブズマンおかやま」はいろいろな不正を少しでも取り除こうと頑張っています。あなたの応援をお願いします。それが今の住みにくい社会を少しでも良くすると信じて一緒に進みませんか？

表、岡山県の政務活動費情報公開度

議会名	領収書(30点)				会計帳簿			活動報告書			視察報告書			マニュアル		合計 100 点満点
	ネット公開	原本提出	個人名の 公開	閲覧の請求 必要か？	ネット公開	提出の 義務付け	ネット公開	作成の 義務付け	ネット公開	作成の 義務付け	ネット公開	作成の 義務付け	作成	ネット公開		
															15点	
岡山県	0	2	0	5	0	0	0	10	0	10	5	0	32点			

県別(47都道府県中28位)

岡山県	0	2	0	5	0	0	0	10	0	10	5	0	32点
-----	---	---	---	---	---	---	---	----	---	----	---	---	-----

政令市別(20市中18位)

岡山市	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5	0	15点
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

中核市別(48市中27位)

倉敷市	0	5	0	5	0	0	0	10	0	10	5	5	40点
-----	---	---	---	---	---	---	---	----	---	----	---	---	-----

各評価点(100点満点です)

第24回全国市民オンブズマン和歌山大会の資料(92~106ページ)より

「政務活動費分科会」報告

夏の名残の政務活動費

光成卓明

今年も、全国大会の相当部分が、政務活動費ネタでした。大会恒例の寸劇も去年から政活費ネタになり、私も腹黒ベテラン議員「徳田康家」役で準レギュラー出演するようになりました。根が嫌いじゃないので、楽しんで…どれくらい楽しんでかということ、自分でハリセンを作って持参するくらい…やらせていただいております。

まあ、毎年♪ああ、日本のどこかで♪不祥事がでかでか報道されるのですから、ネタとしてはたしかに鉄板です。政活費分科会は、2014年盛岡大会から4年連続の開催です。…にしても、なんで毎回毎回オレかね。若い人たちはナニをしている。

今年は、全国からあらかじめ、①「うっところはこんなにひどい」（使途その他各地の政務活動費の「酷い」くらべ）、②「まいっちゃんぐ」（いまこんなことで困っている、という困りごと相談）、③「圧倒的じゃないか」（こうやったらこのようにうまくいった、という成功例報告）をつのって、それぞれ発表していただき、参加者で議論しました。これだけ手を広げたのは、正直に申しますと、新しいコンセプトを思いつかなかった=ネタに詰まったからです。

「ひどい」のエントリーは4件。埼玉県（広報費領収書の偽造、会派による政活費の天引き、異常に高額な海外視察）、金沢

市（事務所・人件費を按分しない）、福井県（町議を「雇って」給与全額を支出）、奈良県（茶菓子代・調査委託費・会議費の領収書を偽造）です。（数が少ないのは、「前年の大会以降に出てきたもの」に絞ったため。）埼玉県と奈良県が、「酷い」のグランプリに選ばれました。

「まいった」では、和歌山県から、①交付額を超える支出額が報告される、②議員監査委員が自発的に回避しないで監査に加わる、と報告されました。

「圧倒的」では、奈良県から、公開質問状・要望書を提出し、会議を傍聴し意見を述べるなどしたことによって、領収書・会計帳簿・調査報告書等のネット公開・「マニュアル」の厳格化を実現したことが報告されました。

どこかで聞いたことがある気がする？そうでしょう。なにしろ、毎年全国で似たような不祥事が報道されていますし、偽造とまでいかない地味な不都合は岡山にもありますし。

でもって、「その議会の大問題」になってやっと、「その議会の改革」がされます。つまり他所で発覚したくらいでは変わらない。なので、「毎年報告されている問題が、



全国大会参加の当会メンバー

今年もまた報告」され…よって（ずっとやっている者としては）ネタに詰まってくる、というわけです。

「えこひいき監視分科会」報告

和田 啓 二

分科会名称は副題で、実質は情報公開請求で文書不存在とされる諸類型や組織的文書でないとされる事例などを中心に、行政機関の現行法の不備を突いた運用状況に我々がどう立ち向かい対応すべきかを探る分科会である。

全国大会初日の基調報告でメールの公文書性、口利き制度調査、森友学園問題情報公開結果、文書件名簿を用いた追及などが分科会の前座の役割を果たした。分科会では情報公開個人情報保護審査会で委員をされた森田明氏が当時の答申例で「文書不存在」の諸事例について報告した。

主な文書不存在の類型を行政側の意識と行動から、

1. 電磁的記録について行政文書との認識を欠き、又は管理ルールの未確立
2. 存在する文書を不存在にしてしまう。
3. 個人資料であるとして行政文書でないものとして保有
4. 地方自治体での「補助的文書を行政文書から除外する条項」

に分類して説明された。行政文書の存在を否定していた行政機関に対して審査会が文書を開示すべきとの答申例は、他の裁判所

法廷などで特定文書に記載された情報を証拠として提出して明るみに出たなど、ごく一部の事例を除いて少ない。1,3,4 の類型が当初から争われる事案はほぼ、開示請求者が開示請求書に「〇〇の電磁的記録」など 1,3,4 の類型を示す請求内容を記載している場合に限られる。それらの事案で開示を拒んだ行政機関は、その文書が行政機関で組織的に用いられていたものであるかどうかについて、込み入った論理を法や類似事案の恣意的解釈と附会を振りかざし展開することが多い。その論理の多くは核となる循環論的命題を、特定の法解釈と事例解釈で借景のように補強する三位一体論法であり、請求者の多くがその論法はどこかおかしい、不当であると感じるはずである。しかし、行政の論理を細かく分解し再構成し論理の矛盾を突くことは、法を読んでいず、開示請求に慣れていない一般人にはかなりむづかしい。審査会や裁判所が行政機関の内規などを適切に提出させれば、なんらかの糸口に近づく可能性があるが、請求者の自助努力でなければならない。

森田氏は審査会の答申は事務局がたたき台を作り、審査会が修正すると実態を語った。多くの審査会委員は、数年で辞職し委員の多くは特定の専門分野の知識はあるが、ジェネラリストでも情報公開の専門家でもない。審査会は多量の案件を裁いているので類似の案件の答申文を「コピペ」し、審査請求人のその他の主張は結論を覆すに至らないとの文言で検討対象とすらされない。概念上 2 に分類される類型は実際には、1,3,4 に属する疑いや根拠の発見に至らず

その類型に含まれてしまう場合が多いと思われる。

なお、分科会前座で発表があった文書件名簿とは、各自治体が保有する行政文書について、文書の種類や保存年限などを記載した一覧表で、国の各行政機関が保有するものは、行政文書管理ファイル簿の名称で、各行政機関共通のソフトを利用した電磁記録と1年に一回更新前のものを紙ベースで印刷したものがあるが、後者を作成しない行政機関もある。全国大会直後岡山県と岡山市に類似のものがないか調査した。岡山県の総務部学事課行政情報・不服審査班には、全庁について紙ベースでの文書管理ファイル約10冊が備え付けられていた。今後行政文書の特定に利用できると思われる。また岡山市で行政文書管理ファイル簿に相当するものは岡山市のホームページから例規集→岡山市文書分類基準表に飛んで探すことが出来るとのことであるがむづかしく確認できていない。市の開示請求自体は電子申請でき、おおむね200頁までの開示であれば、60日間PDFで公開され、手数料が不要で自由に印刷できる。容易に行政文書名が特定できる場合には便利であろう。

「カジノ・ギャンブル分科会」報告

釣崎悦子

ギャンブル被害者がいて良い訳はない。しかし、大阪・横浜・地方自治体でカジノ

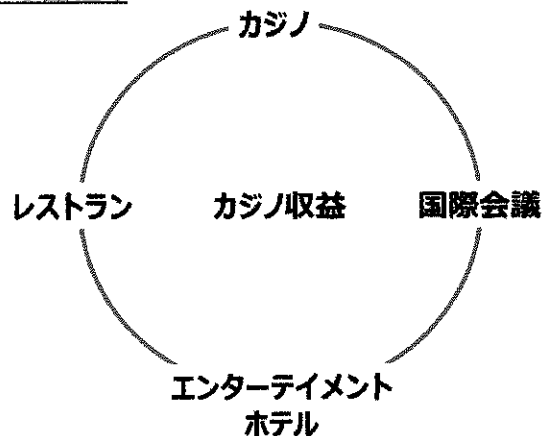
・ギャンブル場誘致が全国的に展開されている。

IRカジノ法「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」とは何か？カジノを中心とした統合型リゾート施設の運営基準を定める実施法である。統合型リゾート施設とは、会議場・レクリエーション施設・展示場・宿泊施設・その他飲食店等の複合型施設をいう。

現在考えられている主な候補地として挙げられているのは、以下である。

- ・横浜の山下埠頭周辺（2020年の東京五輪までに間に合わせたい）
- ・大阪夢洲（大阪万博会場の候補地でもある）

IRの仕組み



主催者側はこのリゾート施設を訪れる人々をカジノに立ち寄らせることを前提として考えている。「魚釣り」に例えると、磯釣りではなく、トロール漁船のように全てを釣り上げるようなものである。

IRカジノは政府により急ピッチで進められている。そして7月31日に第10回推進会議において案を取りまとめ、8月に

は全国で公聴会やパブコメ(8月1日～8月31日)が実施された。全国10か所で開催されたが、意見表明希望者は8月13日までに参加申し込みし、参加者を抽選で決め、開催日の3日前に通知するという全く性急なものであった。

神奈川県では9月に住民訴訟が行われま
す。大阪でも行動されるはずですが、共にギ
ャンブル被害者をなくすため、立ち上がり
ましょう。

(「大会宣言」と「IRカジノ設置に反対する
決議」は9, 10頁に掲載しています。)

コラム

いってきました。和歌山大会！

藤井邦昭

一日早く車で出発し、神戸から大阪へ。天王寺でお泊りしました。

久しぶりに友人の居酒屋へ。料理とお酒と話しを楽しみました。以前、会社勤めの時は、出張時に覗いていましたが、退職後初めてです。店主は銀行員を脱サラし、夫婦で居酒屋を始めました。同級生でありながら、一つの会社、一つの部署で40数年働いた自分では考えられないものでした。

さて、大会当日早めの出発でいざ和歌山へ。途中休憩しながら会場の駐車場へ車を入れて会場の下見をし、昼食をとり受付しました。岡山からは最初の受け付けとなりました。

マスコミで取り上げている、香川県議の海外視察も話題の一つで、大会資料に追加となりました。まだまだ、あるあるの政務活動費。どうしたものでしょうか？

一日目終了前で、一人帰りました。なかなかドライブすることもないですが、気楽に運転できました。趣味ゴルフだけでなく、ドライブも思えました。

全国大会には今回で4回目の参加です。初めて参加したのが「千葉大会」。ハツ場ダム建設反対を覚えています。そして、民主党政権になり凍結に。しかし、その後政権交代でより以上に工事が進んでいます。いいのでしょうか？

2回目は、翌年の「岡山大会」です。開催地でもあり、準備から参加しました。会場前にのぼりを持っての案内役でした。あとは、あちこち移動して写真を撮りまくりました。いい思い出です。たまたま、当時の写真を見ています。みんな若かった。元気でした。今は、メンバー全員年を取り、新メンバー加入が待ち遠しいです。

3回目は、昨年の「香川大会」です。この大会にも一人だけ別行動、宇野からフェリーで高松へ、もちろん屋はうどんを食べて会場に入り、受付の手伝いをしました。一日目終了後もフェリーで帰りました。2日目は、今回同様用事があり不参加でした。

今は、こちらも久しぶりの政務活動費の入力作業をぼちぼち進めています。また、裁判所へ傍聴に行きました。これからどんどん出るだろう判決を楽しみにいきます。

会社員でなくなった、これからの時間を大切にしたい65歳。

第24回全国市民オンブズマン和歌山大会資料

大会宣言

2017年9月2日から3日にかけて、私たちは『忖度』の闇に光を！権力のえこひいきをただす』というメインテーマで、第24回全国市民オンブズマン和歌山大会を開催しました。

権力への忖度を許さず、公正な意思決定を実現させるためには、情報の公開が必要不可欠です。ところが、今回の調査で、本来公文書として扱われるべき電子情報が隠蔽されるおそれや、権力者を監視する（口利き）記録制度が十分機能していないことが明らかになりました。森友学園問題や加計学園問題、さらに南スーダン国連平和維持活動（PKO）日報問題における情報の隠蔽は、今後も起こりうる事が判明しました。この状況をあらためるには、情報が民主主義の基礎となる国民の共有財産であることを今一度確認し、権力が都合のいいように操作できない文書管理・情報公開の仕組みを確立していくことが不可欠です。

政務活動費をめぐることは、あいかわらず情報公開が不十分であることが明らかになりました。情報の非公開を背景に、全国各地で不正支出があとを絶ちません。ネット公開を進めると同時に、開示される情報の質を高めることが必要です。

私たちは、今回の大会報告や討議をもとに、電子情報を含む文書の管理と情報の公開を徹底させること、政策を歪める「口利き」や政務活動費の不正支出を監視すること、住民自治の実現へ向けた政治・議会改革を求めることを誓い、私たちの活動をますます発展させるため、以下の5点を大会宣言とします。

記

- 1 国・自治体に対し、公用サーバーで保存されている電子情報はもちろん、公用パソコンに保有されている電子情報はすべて組織共用文書とさせること
- 2 国・自治体に対し、電子情報の適正かつ明確な管理のルールを確立させること
- 3 国・自治体に対し、違法・不当を要件としない行政への働きかけを記録する制度を作らせること
- 4 地方議会に対し、政務活動費の領収書の原本提出ならびに、領収書だけでなく全活動関係文書のネット公開をさせること
- 5 住民自治の基礎となる町内会の民主化・会計透明化に向けて全国の情報を共有していくこと

2017年9月3日

第24回全国市民オンブズマン和歌山大会参加者一同

I Rカジノ設置に反対する決議

1. 2016年末国会で「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」（以下、I Rカジノ法）が強行採決された。

I Rカジノ法は、政府に民営I Rカジノの実施法をつくらせ、2020年の東京五輪にも間に合わせるというもので、カジノに伴う①ギャンブル依存症等の発生・拡大、②治安悪化、犯罪の発生、③マネーロンダリング、脱税、④教育・文化環境の悪化を招き、そして本来許されない賭博を営利業者に認めるという利権まで発生させ、法秩序の否定をもたらすものである。よって、私たちは法案に反対し、廃案を求めてきた。

2. 政府は、2017年4月に「I Rカジノ実施法」の立法化のため推進会議をつくった。そして、安倍首相は口先では世界最高水準の規制のI Rカジノを設けるというも、推進会議のI Rカジノ案の実態は最低レベルのカジノ規制を取りまとめようとしている。

I Rカジノは、人の射倖心を利用して、人の富を効率的に収奪するものであり、人の弱みを利用する大規模な組織的私企業活動である。

国内外のカジノ企業、I R議連（カジノ議連）、カジノを推進する経済団体、そして誘致活動を行う一部地方自治体の首長は観光振興などというが、その効果は疑わしく、市民から娯楽の名の下に財産を収奪する事業を進めるものである。

3. 政府や地方自治体は、現在でも刑法185～187条の例外となる特別法で公営競技を主催したり、富くじ（宝くじとサッカーくじ）を販売しており、10兆円弱の公営ギャンブルがある。また、日本にはパチンコ・スロットの売上18兆円、11000店と世界最多の公認「ミニカジノ」が存在する。

これによる日本のギャンブル依存症は厚生労働省の委託調査で286～536万人と推計されている。そして、既存ギャンブルの周辺で既に賭客の借金や生活破綻、自殺、さらに家族の財産喪失から子どもの熱中死までが発生している。そして、ギャンブルに投ずる金のために発生する窃盗、強盗、横領の犯罪も絶えない。

しかるに、この弊害を生み出したギャンブル主催者・企業はその防止の責任を全く果たしていないし、政府や自治体も被害救済に動いていない。

4. これは憲法の定める日本国民の幸福追求権、生存権、生活基礎となる財産権を侵害するものである。そして、「I Rカジノ実施法」を国会が認めることは、これまで日本になかった「賭博特区」での民間企業の賭博開帳を認めるもので、憲法上、最大の尊重を必要とする人権と公共の福祉に反するものであり、絶対に許されない。

以上、決議する。

2017年9月3日

第24回全国市民オンブズマン和歌山大会参加者一同